授業科目　装具実習 III（上肢装具実習）

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	義肢
阿部　薫、笹本　嘉朝	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○			○	◎

【概要・一般目標：GIO】

装具学 III（上肢装具）で習得した知識を基に製作された装具を対象者へ正しく適合するのに必要な技術を習得する.

【学習目標・行動目標：SBO】

1．上肢装具の採寸・採型など，装具適合部位の形状獲得作業が的確に行える.
2．対象となる疾患に応じた上肢装具の設計，デザインを的確に行える.
3．様々な既製品の上肢装具および自助具を，的確に装着することができる
4．チェックアウトプロトコルに従って，装具の適合判定を的確に行える.
5．上肢装具不適合に対処できる.

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1 － 3	手関節装具実習：採寸・採型	1	教員デモと学生による実習
4 － 6	：陽性モデル作成および修正	2	教員デモと学生による実習
7 － 11	：手関節装具製作	2	教員デモと学生による実習
12 － 13	：適合チェックアウトと問題解決	3,4,5	教員デモと学生による実習
14 － 16	上腕骨折用装具実習：採寸・採型	1	教員デモと学生による実習
17 － 19	：陽性モデル作成および修正	2	教員デモと学生による実習
20 － 26	：上腕骨折用装具製作	2	教員デモと学生による実習
27 － 28	：適合チェックアウトと問題解決	3,4,5	教員デモと学生による実習
29 － 30	既製品上肢装具適合実習：採寸・適合チェックアウトと問題点	1,3,4,5	教員デモと学生による実習

【使用図書】	＜書名＞　＜著者名＞　＜発行所＞　＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	なし
参考書	装具学 III（上肢装具）に準ずる
その他の資料	単元ごとに必要な資料を配布する

【評価方法】

学習態度と各工程における技術習得レベルを製作物で評価し，総合的に判断する.

【履修上の留意点】

授業の１/３を欠席した者は，科目評価資格を失うものとする.
欠席は１回につき－５点，遅刻は１回につき－２点，遅刻２回で１回の欠席とし，最終評価から減点する.